

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立東苗穂小学校 【日時】平成29年12月4日（月） 【対象】4年生 児童45名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	・オリンピックの理念を基盤にして他者との共生の思いをもちながら生涯にわたって運動やスポーツに楽しむ態度の育成を図る。 ・児童がオリンピックの経験を知ることを通じて、希望をもって粘り強く努力することの大切さや、仲間とともに支え合い学び合うことが、互いの成長に欠かせないことに気づく。
5 取組内容	・目指す子どもの姿を「自分の目標に向かって、仲間とともに努力し続ける子ども」とし、全5時間の道徳の単元を組んだ。 ・5月に行った「わたしのプリマドンナ」の授業を除き、全ての教材をオリンピック選手の生き方や考え方から学ぶという形にした。 ・オリンピック選手のエピソードをもとに、「努力と強い意志」「礼儀」「友情」など様々な内容項目を学び、さらに同じ「友情」でも、「譲り合い」や「競い合い」など、様々な形があることを学んだ。 ○指導計画 道徳全5時間＋行事1時間（講演）＋交流 ① 親切 思いやり「わたしはプリマドンナ」 ② オリンピック・パラリンピック教育研究推進事業 特別講師 阿部雅司氏を招いての講演 ③ 努力と強い意志「いつかにじをかける」 ④ 礼儀「くつがえらない判定」 ⑤ 友情、信頼「友情のメダル」 ⑥ 友情、信頼「よきライバル」

	阿部さんの講演の様子 道徳授業の板書
6 主な成果	• 本講演を道徳の一連の授業構成に組み込んだことにより、計画的な指導が可能となり、大きな相乗効果を得られた。阿部選手が様々な挫折を乗り越え、どう生きたかが非常に臨場感ある語りで子どもたちに伝わった。児童は、オリンピックの言葉にとっても感動していた。 • 講演会後に行った道徳の授業では、選手の人物像が身近なものになり、資料の中の人物の内面への洞察へと結びつき、深い学びをもたらした。オリンピックによる講演は、「道徳」の学習と親和性が高く、児童の成長も期待以上だった。 • 講演会において、スポーツマンシップや五輪の哲学について思いをもつことができ、その効果は後に続く冬季オリンピックに関する関心の高さにも表れた。冬季スポーツ全体への興味が大いに高まったといえる。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	• 事前に講演者と打合せを十分に行い、講演の内容やスケジュールについて調整を図る必要がある。 • 当日の給食の同席や即席サイン会など、こちらの要望をすべて聞き入れてくださった上に、児童の反応が想定以上で予定していた時間よりも長く交流時間をとったため、阿部さんのご厚意に甘える結果になってしまった。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。